

🔔 日頃のご利用に感謝して『秋の収穫感謝祭』を開催



▲ あったか鍋の無料提供を行う会員

J A 農産物直売所みょうが館で11月20日、日頃ご利用頂いている皆様へ感謝を込めて、『秋の収穫感謝祭』を開催しました。

直売会員自慢の一品や漬物の試食販売のほか、ひもくじによる直売品プレゼントが行われ、抽選を待つ人で館内に長蛇の列ができました。

また館内の特別コーナーでは、安全・安心・新鮮な直売品をふんだんに使用した、きりたんぼ・たまご鍋の無料提供が行われました。来場者の中には、このイベントを知らずに訪れた方もおり、思いがけない「あったか鍋」の提供に、満面の笑みを浮かべて食していました。

🔔 市とJAによるトップセールス首都圏で地元食材の魅力をPR



▲ ステージ上で特産品を紹介する袴田組合長

J A あきた白神と能代市は11月5日と6日の両日、東京都豊島区で開かれた『お国自慢 in 池袋(全国観光都市PR展)』に参加し、自慢の農産物である新米あきたこまちやあきた白神ねぎ、特製味噌や白神山水などを販売して、管内の農産物を首都圏にPRしました。

豊島区観光協会の50周年を主に開かれた同イベントでは、全国各地の特産品がずらりと並び、たくさんの方が会場を訪れました。能代市の物産ブースでは、袴田英明組合長と齊藤滋宣能代市長によるトップセールスが行われ、特産品を使ったきりたんぼ鍋販売には人が押し寄せ、地元食材の魅力を存分にPRできました。

🔔 成育や飼養技術を競う第11回子牛品評会



▲ 体のバランスやボリュームなどを審査

J A 畜産部会(小森鉄雄部会長)は、第11回 J A あきた白神子牛品評会を大野岱放牧場で開催し、農家自慢の子牛27頭が優劣を競いあいました。

県北部家畜保健衛生所など4名が、成育状況などを審査した結果、雌の部では桂田安太郎さん(藤里町長瀬)の「まいはな」(雌)が優等賞・全国和牛登録協会県支部長賞を受賞。また去勢の部では、佐藤太五工門さん(藤里町寺屋布)の「光太郎」が特等賞に選ばれました。

審査員は「生産者の努力で、高品質な子牛が生産されている。今後も飼養技術向上を目指し頑張ってください。」と話しました。

🔔 冬場の収穫期に向けてアスパラガス株の生育を確認



▲ 生産者自慢の根株の重量や糖度を計測

J A アスパラガス部会は11月9日、今年度のアスパラガスの生育を確認するため、J A の野菜集出荷所で株品評会を開きました。

管内のアスパラガス生産者が出品した品評会では、J A 担当者などがアスパラガス株の重量や茎数、糖度などについて計測を行い、優劣を競いあいました。計測の結果、株の重量は平年に比べてやや少ないものの、糖度は高く、生育が順調であることが確認されました。

また優秀賞には山谷清英さん(能代市二ツ井町富根)の株が選ばれ、その他の株も生育・品質ともに良く、参加者らは今後の収穫に向けて手ごたえを感じとっていました。